

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

がん医療と介護の連携に関する研究

研究分担者 吉田 陽一郎 福岡大学病院

研究要旨

介護認定制度を医療と連携させることにより、高齢者機能評価を効果的・効率的に行う仕組みを作ることを目指した研究を行う。

A. 研究目的

がん医療と介護の連携を行うために、アンケートおよび後ろ向き研究を行うことにより、現状を把握して今後の連携に向けての問題点の抽出を行う。

B. 研究方法

①全国でアンケート調査を行い、高齢者機能評価および介護認定制度の現状認識を把握する。

② 要介護認定を受けたがん患者の治療成績に関する後ろ向き研究

C. 研究結果

①アンケート調査結果より、医師は高齢者機能評価をほとんど施行しておらず、一方で介護認定制度に関しては把握している医師が多かった。

②約 1300 名の介護認定を受けたがん患者の後ろ向き調査を施行中である。

D. 考察

①のアンケートより、多くの施設で高齢者機能評価を施行していないが、介護認定制度は高齢者機能評価と同等のプロセスを経ていることから、高齢者機能評価の代用となる可能性が示唆された。

②については、現在施行中であり、結果が出次第まとめる予定である。

E. 結論

アンケート結果からは、介護認定制度をがん医療における高齢者機能評価の代用とすることは可能と考えられる。しかし、更なる調査が必要であり、②の結果も踏まえて検討したい。

G. 研究発表

1. 論文発表

Yoichiro Yoshida et al. Implementation of geriatric assessment and long-term care insurance system by medical professionals in cancer treatment: a nationwide survey in

Japan. Japanese Journal of Clinical Oncology, 2022

2. 学会発表

Yoichiro Yoshida et al. Implementation of geriatric assessment and long-term care insurance system by medical professionals in cancer treatment: a nationwide survey in Japan. MASCC, 2022

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし